

令和6年度
学校評価報告書

- 1 令和6年度学校評価の基本方針及び実施状況
- 2 教職員、生徒、保護者に対するアンケート結果
- 3 学校関係者評価

沖縄県立浦添商業高等学校
令和7年3月

I 令和6年度学校評価の基本方針および実施概要

(1) 基本方針

- ①生徒、保護者、教職員、学校評議員に対して学校評価アンケートを実施する。
- ②学校評価アンケート及び学校状況資料（取組、勤怠・成績等）に基づき「学校評価（自己評価）報告書」を作成する。
- ③「学校評価（自己評価）報告書」については、学校評議員及びPTA評議員会より意見・要望等を聴取する。
- ④「学校評価（自己評価）報告書」は、本校ホームページ上で保護者に公表する。

(2) 学校評価アンケートの概要

①対象：生徒、保護者、教職員、学校評議員

②質問項目

i 生徒アンケート

- ・学校生活、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、環境保健の25項目
- ・4段階評価（4 と思う、3 やや思う、2 あまり思わない、1 思わない）
- ・Web（Forms）上から回答（LHR 等で実施）

ii 保護者アンケート

- ・学校生活、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、環境保健、家庭地域との連携の28項目
- ・4段階評価（4 と思う、3 やや思う、2 あまり思わない、1 思わない）
- ・Web（Forms）上から回答
- ・スクリレ及び学校ホームページにて依頼

iii 教職員アンケート

- ・学校生活、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、環境保健、家庭地域との連携、働き方改革の33項目
- ・4段階評価（4 と思う、3 やや思う、2 あまり思わない、1 思わない）
- ・Web（Forms）上から回答

iv 学校評議員アンケート

- ・学校生活、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、環境保健、家庭地域との連携の28項目
- ・4段階評価（4 と思う、3 やや思う、2 あまり思わない、1 思わない）
- ・Web（Forms）上から回答

(3) 日程

12/23(月)～1/31(金)学校評議員実施

1/22(水)～1/31(金)生徒、保護者、教職員実施

3/17(月) 学校評議員会にて結果報告

3/21(金) 学校ホームページにて公表

2 アンケート結果考察

(1) 生徒アンケート

評価C（2 あまり思わない、1 思わない の割合が高い）の項目は下記のとおり

※（ ）内は昨年度の割合

項目	質問内容	平均	そう思う	やや思う	あまり 思わない	思わない
環境 保健	学校は校舎内・外、トイレ等の清掃 がよくされており、きれいである	2.7 (2.6)	26.6% (25.1%)	33.9% (31.8%)	24.8% (25.3%)	14.6% (17.8%)

- ・昨年度（平均 2.6）から今年度（平均 2.7）、微増の改善である。
- ・今年度、美化委員の活動を活性化し努力している。今後も、HR 担任、環境保健部と連携しながら日々の清掃活動を充実させ、改善を図る。

(2) 保護者アンケート

評価C（2 あまり思わない、1 思わない の割合が高い）の項目は下記のとおり

※（ ）内は昨年度の割合

項目	質問内容	平均	そう思う	やや思う	あまり 思わない	思わない
学習 指導	学校は、生徒が授業内容を理解して いるかどうかについて気を配って いる	2.7 (2.7)	16.0% (21.0%)	50.2% (43.7%)	26.5% (29.4%)	7.3% (5.9%)

- ・昨年度、C 評価は 3 項目あった。項目数は減ったもののこの項目の評価は横ばいである。
- ・ICT 活用、小テスト、振り返り活動等をとおして、授業の理解度を確認する場面を創出し、授業改善につなげる工夫をする。

(3) 教職員アンケート

評価C（2 あまり思わない、1 思わない の割合が高い）の項目は下記のとおり

※（ ）内は昨年度の割合

項目	質問内容	平均	そう思う	やや思う	あまり 思わない	思わない
生活 指導	生徒は、学校のルールやマナーを守 り他人に迷惑をかけないように学 校生活を送っている	2.2 (2.1)	9.7% (7.7%)	22.6% (16.9%)	46.8% (53.8%)	21.0% (21.5%)
働き方 改革	個人の裁量（ゆとり）ある時間の確 保ができています	2.7 (2.7)	16.1% (4.6%)	46.8% (30.8%)	30.6% (46.2%)	6.5% (18.5%)

- ・昨年度、C 評価は 8 項目あった。項目数が減っており、改善の兆しがみられる。
- ・生徒指導部を中心とした学習規律改善の取組や教職員一丸となった生徒への地道な声かけ等がよい方向へ向かっていると感じられている。継続して改善を図る。
- ・学校運営体制や学校業務の改善等に継続して取り組んでいく。

3 学校関係者評価

令和6年度第3回学校評議員会において、各分掌の取組状況、学校評価（自己評価）の報告を行った。その後、学校評議員による学校関係者評価を実施した。

- (1) 実施日 令和7年3月17日(月)16時～17時
- (2) 場 所 本校会議室
- (3) 評議員 與那覇 正人（学識経験者 本校元校長）
仲村 順一（地域代表 浦添市浦城自治会長）
池原 昇（産業界代表 海洋食品株式会社取締役営業本部長）
伊藝 妙子（保護者代表 元PTA副会長）
髭白 晃宜（学識経験者 沖縄国際大学産業情報学部企業システム学科教授）

(4) 評価内容

- 地域でも身なりの乱れについて危機感を持っている方が多くいる。指導は難しいし教職員のストレスになることでもあるが、地道な指導を続けてほしい。短期間に解決することではないが、盗撮などの犯罪から身を守るためにも大切なことだと理解させてほしい。
- 商業で学ぶ魅力は何たるかを生徒にしっかり伝えることが大切。また、生徒と保護者の評価に食い違いがある部分を解決するためには、保護者へ日々の学習の様子を発信する方法を工夫する必要があると感じる。
- 検定取得に向かわせるスモールステップの活動をお願いしたい。生徒に自信を持たせる工夫をすることで、次の行動につながるはずだ。
- 地域の美化活動にも貢献してくれて嬉しい。公園でたむろするような生徒も減っている。卒業式でも生徒がのびのびしている雰囲気を感じた。卒業生の姿を見て、多くの後輩が、浦商を目指すようになる。先生方の地道な指導を継続していただきたい。
- トップの熱い思いは、生徒・保護者・教職員に必ず伝わる。浦添商業が、よりよい学校になるよう、スポーツ、学業をとおして活動を継続してほしい。他校や企業の取組にも目を向けて、いいものは積極的に取り入れる柔軟さを持ちたい。
- 進学が全てではないが、大学進学者数が倍増していることに関心を持っている。自己の将来を考えて進んでいくことができるし、可能性を広げることができる。先生方の地道な指導の成果が現れていると感じる。今後は、進学希望者に対して、大学で何をしたいのか、社会に出て何をしたいのかを考える時間をしっかり確保してほしい。周囲に流されるような進路決定にならないようにしたい。
- 進路実績や資格取得は、自分自身にも、後輩にも自信を与える。今の学びを計画的に形にしていけるよう先生方には関わってほしい。先生方の日々の苦勞、尽力のおかげで、生徒は卒業し、社会で活躍することができる。継続していくことを期待している。